

一般入選作品 <俳句の部> 選者 新庄 佳以 先生

特選 天	極暑の夜蕎麦ひと品の子命日	木村 真弓
地	テラス席珈琲の香も雲海へ	安間 恒雄
人	麦畑一枚だけの風の道	安西 ときわ
優秀賞	青い花咲けど八月十五日	鈴木 あさ子
優秀賞	初恋は古里にある夏椿	神野 裕子
優秀賞	街の灯より離れ子の家銀河濃し	山田 まち子
佳作	初蟬を猫と聞く朝静かなり	鈴木 貢
佳作	潮の香や市歌流れくる青田道	永井 千恵子
佳作	万緑に妻を委ねて奇跡待つ	西野 恒男
佳作	父祖の地や人懐こくて赤蜻蛉	原 睦雄
佳作	秋澄むや小湾にゆららガラス玉	堀江 康士

一般入選作品 <川柳の部> 選者 佐藤 清泉先生

特選	運命を突っ張り棒と分かち合う	水谷 美智子
優秀賞	努力する汗に生きてる音がする	松川 多賀男
優秀賞	許し合う幅を拓げて生きていく	二村 園子
優秀賞	坂一つ越せぬ無念さ丸い背な	久保 善磨
佳作	悲しくておもしろき日を今生きて	大橋 文恵
佳作	人生の迷路を辿るひとり旅	丸尾 なか
佳作	靴の紐少し緩めて楽に生き	鈴木 織江
佳作	今ここが一途に生きる着地点	小林 ふく子
佳作	地図に無いその人生を探す旅	大場 宏周

一般入選作品 <短歌の部> 選者 村松 幹子先生

特選	ひるがえす反旗もすでに色あせて娘らはしっかり母親稼業	白尾 彰子
優秀賞	ボランティア皆の笑顔を思いつつ明日の踊りの準備楽しむ	二村 園子
優秀賞	三本のつくしのやうなる指立てて三歳とふ声野に弾む	鈴木 和枝
佳作	こんな日がやっと来たねと手を取りて敬老会のきざはし登る	酒井 敬子
佳作	汗だくで濡れしTシャツ脱ぎにくいいつまで続く水やり作業	金原 直保子
佳作	蒲公英の綿毛はまるく透きとほり風呼ぶやうにはつか揺れたり	鈴木 ひさ子